

コミュニケーション

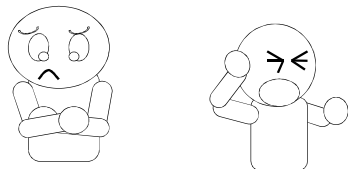
香川大学教育学部
坂井 聡

自閉スペクトラム症のある人には

- コミュニケーションに発達的な偏りがある
- 社会性に発達的な偏りがある
- イマジネーションに発達的な偏りがある

問題行動があるために

- 社会参加が制限される
- QOLを低下させることになる



このような結果

- 「あの人は何を言ってもわからない人だ」
- 「あの人間問題行動のあるどうしようもない人だ」



不当な評価

周囲に受け入れられない行動にも

- 要求
- 注目
- 拒否
- 感覚



要求・注目・拒否は、
コミュニケーション
行動でしょ

意味あるやり取りができるように

コミュニケーションには基本原理がある

コミュニケーションには基本原理①

- コミュニケーションは、送り手、受け手、メッセージ、チャンネルなどの構成要素から成る相互行為の過程

コミュニケーションの基本原理②

- コミュニケーションは意識レベルと無意識レベルの両方で成立

コミュニケーションの基本原理③

- コミュニケーションは不可逆的

コミュニケーションの基本原理④

- コミュニケーションは動的

コミュニケーションの基本原理⑤

- コミュニケーションは適応の性格をもつ

やりとりが成立すれば

- 解決できるものが多い
- 必要な支援を考えるために

機能的なコミュニケーション練習

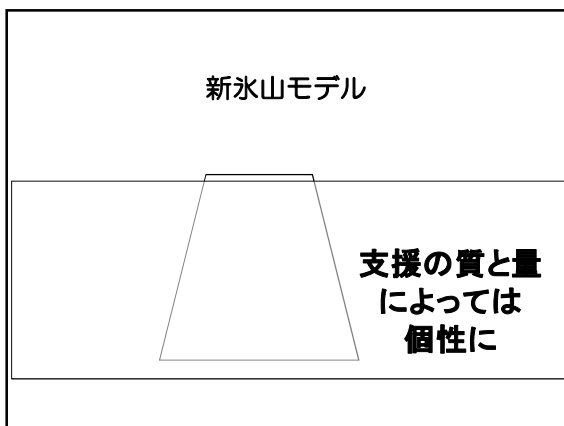
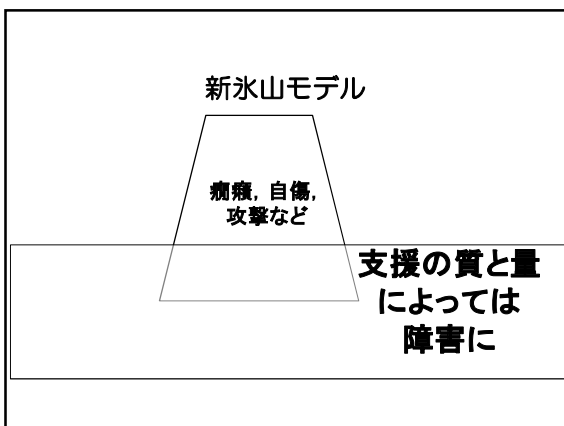
- 問題行動に変わるコミュニケーションの手段を身につけることができるように
- 問題行動で解決するのではなく、周囲の人に受け入れられる方法で解決する

代替コミュニケーション手段を練習するとき

- 目標とする行動を決める
 - すべて練習するのは無理
- 起きてしまった問題行動を抑えるのではない
- その行動を観察する
- 代替手段を考える
 - 本人のスキルにあってるのか?
- 練習する機会を設ける
- 練習したことを振り返る

「問題行動」の原因

- 子どもの障害特性からくるものだけではない
- 支援者も含めた環境側の問題にもあるという基本的な視点をもつ必要がある
- 「問題行動」は障害特性と環境要因との相互作用の結果によるもの



ところで何に困るだろうか？

- 障がいのある人が、生活していくうえで困っているのではないかと考えられること
 - 伝えられたことが理解できなくて
 - 伝えられたことを記憶しておくことで
 - 周囲の状況から判断することに
 - 周囲の情報を取捨選択することに
 - 適切な表現方法で伝えることに

評価が重要

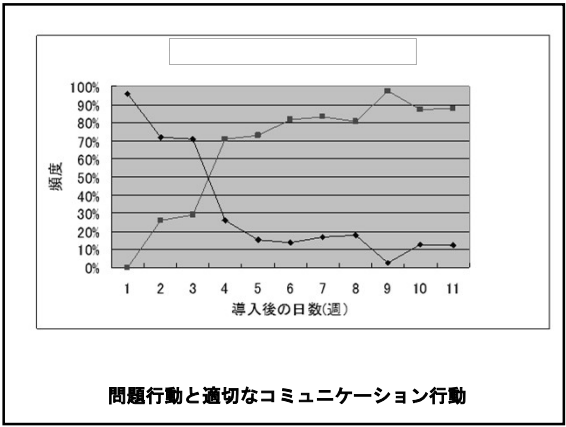
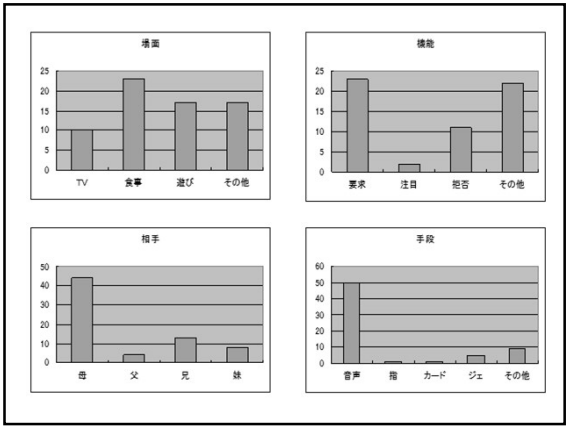
- コミュニケーションサンプルをとる
- 実態を知る
- 目標を考える
- 実践方法を考える
- 実践する
- 振り返る

コミュニケーションの記録

- その人がどのような方法でコミュニケーションしているのか知ることから
- 行動には理由がある
- 今、どんな方法でコミュニケーションしようとしているのか
- 周囲に受け入れられないような行動も見方を変えてみる
- 発信していることに気がつく

コミュニケーションサンプル

| どのような場面で (文脈) | どうした(子どもの言動) | 機能 | | | | 文脈 | | 手段 | 備考 |
|------------------|--------------|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|
| | | 要求 | 注目 | 拒否 | その他 | どこで | だれに | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |



問題行動は怖くない

- 「やめなさい」なら誰でも言える
- 専門家としてできること
 - 視点を変えて問題行動を見てみる
- コミュニケーション行動の改善が問題行動に変化をもたらす
- 私たちが見方を変えることで

アイデアをどこで活かす

- どうやって使うのかより、どの場面で使うのか？
 - 場面を考えれば使い方も浮かんでくる
- 役割を果たすことができる場面で
 - 感謝されたり褒められる経験
- これを使うと何か楽しい！！望みもかなう！！
 - 伝わったことが実感できる経験

視点を変えなきゃ

- その人はどう考えているのだろうか？
 - 技術をもてば見えるかも
- その人が何を苦手としていて、何に困っているのかを考えてみる。
 - 障がいにとらわれてないだろうか？
- 私が変わることから
 - コミュニケーションとれているのかな？と考えることから